

令和2年度 芸術科「音楽Ⅰ」シラバス

科目	音楽Ⅰ	単位	2	学年	1年 普通科 理数科	使用教科書	高校生の音楽 1 (教育芸術社)
----	-----	----	---	----	------------	-------	------------------

1 科目の目標及び評価方法

科目の目標	音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。
評価方法	定期考査・・・40% 実技テスト・・・30% 提出物・授業態度・発表点・その他等・・・30%

2 音楽Ⅰの評価の観点、規準

	①音楽への関心・意欲・態度	②音楽表現の創意工夫	③音楽表現の技能	④鑑賞の能力
観点	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとしている。	楽曲の諸要素を知覚し、それらの働きを感受しながら表現を工夫し、表現の意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。
規準	楽曲の背景との関わり、曲想を生み出している音楽的な特徴に関心をもち、主体的に取り組もうとしている。	旋律、強弱、リズム、速度など知覚・感受し、楽曲にふさわしい音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。	イメージをもって音楽表現するために、発声や発音、読譜、楽器の奏法などを身につけて創造的に表している。	楽曲の文化的歴史的背景、作曲者による表現の特徴、演奏者による表現の特徴を理解を深め、良さや美しさを創造的に味わって聴いている。

3 学習計画及び評価方法等

学期	月	考查範囲	学習内容	学習のねらい	主な教材	評価の観点				評価方法	配当時間	進行
						①	②	③	④			
1 学期	4	期末 考査	【歌唱】豊かな声でハーモニーを楽しもう	①発声の基礎を学び、よい響きの声で歌い、よく調和する響きをつくる。	「校歌」「翼をください」「Swing Low Sweet Chariot」	○	○	○		a	4	
	5		【歌唱】イタリア語とドイツ語の歌曲を歌ってみよう	① イタリア語とドイツ語の発音に親しみ、曲想と歌詞の内容から表現方法の違いを理解して歌う。	「O sole mio」「サンタ ルチア」	○	○	○		a c	6	
	6		【器楽】拍の流れを全員で共有しよう。	①2拍目、4拍目にアクセントがあるオフビートの音楽をメンバー全員で共有する。 ②強弱や拍子感をもって、打楽器アンサンブルとしても演奏効果を高める。	「Clapping Quartet NO.1」	○	○			a c	5	
	7		【鑑賞】オーケストラの楽器とその音色を知ろう	① 交互に出現する旋律や、一貫して用いられるリズムを感じる。 ② それぞれの楽器の特徴を理解して、音の重なりなど多様な音色を味わう。	「ポレロ」	○			○	a c d	8	
2 学期	9	期末 考査	【器楽】ギターを弾こう	①単旋律、コードでグループアンサンブルをする。 ②ギターでコードを弾きながら弾き歌いができる。	「ていんさぐぬ花」「カントリーロード」	○	○	○		a c d	7	
	10		【創作】イメージをもって曲を創ろう	①日常生活をテーマに歌詞をつくり、コード進行にあわせて、旋律を創作する。	「自作曲 琉球音階を用いて」	○	○	○		a b c	10	
	11		【鑑賞】ベートーヴェンの歓喜のメロディーを知ろう	①シラーの頌歌をもとに、ベートーヴェンの表現した音楽から、その表現意図を読みとろう。	「ベートーヴェン交響曲第9番」	○			○	a c	7	
	12		【歌唱】歌い継ごう 日本の心	①歌詞のストーリーを読み取り、日本語のイントネーションと旋律線の関係を理解する。	「この道」「待ちぼうけ」	○	○	○		a b c	5	
3 学期	1	学年 末	【歌唱】合唱のよろこび	①音楽表現に必要な要素を理解し、それらの働きを生かして歌グループ発表会を通して、音楽の要素を知覚しながら相互評価をする。	「つないで歌おう」	○	○	○		a d	10	
	3		【器楽】郷土の音楽	地域で育まれた音楽を知り、弾き歌いができるようになる。	「安里屋ユンタ」「なりやまあやぐ」	○	○	○		a d	8	

《評価方法》 a. 授業に対する意欲/b. 学習ノート/c. ワークシート/d. 実技テスト・定期考査

令和2年度 芸術科「音楽Ⅱ」シラバス

科目	音楽Ⅱ	単位	2	学年	2年 普通科	使用教科書	高校生の音楽 2 (教育芸術社)
----	-----	----	---	----	--------	-------	------------------

1 科目の目標及び評価方法

科目の目標	音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。
評価方法	定期考査・・・40% 実技テスト・・・40% 提出物・授業態度・発表点・その他等・・・20%

2 音楽Ⅱの評価の観点、規準

	①音楽への関心・意欲・態度	②音楽表現の創意工夫	③音楽表現の技能	④鑑賞の能力
観点	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとしている。	楽曲の諸要素を知覚し、それらの働きを感受しながら表現を工夫し、表現の意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。
規準	楽曲の背景との関わり、曲想を生み出している音楽的な特徴に関心をもち、主体的に取り組もうとしている。	旋律、強弱、リズム、速度など知覚・感受し、楽曲にふさわしい音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。	イメージをもって音楽表現するために、発声や発音、読譜、楽器の奏法などを身につけ創造的に表している。	楽曲の文化的・歴史的背景、作曲者による表現の特徴、演奏者による表現の特徴を理解を深め、良さや美しさを創造的に味わって聴いている。

3 学習計画及び評価方法等

学期	月	考查範囲	学習内容	学習のねらい	主な教材曲	評価の観点				評価方法	配当時間	進行
						①	②	③	④			
1学期	4	期末考査	【歌唱】歌詞の内容を理解して、表情豊かに独唱曲を歌おう	①姿勢や発声に意識を向けるとともに、歌詞の内容を理解してイメージをもって歌う。 ②歌と伴奏それぞれの役割をよく理解して表現に生かす。	「糸」 「からたちの花」	○	○	○		a b c	4	
	5		【鑑賞】世界のポピュラー音楽の魅力を感じ取ろう	①ジャズやロックを、リズムなどの特徴について理解を深めながら楽しんで鑑賞する。	「In the Mood」 「Livin on Prayer」	○			○	a c	4	
	6		【器楽】リズムアンサンブルを楽しもう	①リズムの読譜や記譜に関心をもち音楽表現に生かす。 ②イメージをもって創造的かつ主体的にリズムアンサンブルに取り組む。	「クラッピングカルテット No2」	○	○	○		a d	6	
	7		【鑑賞】斬新なリズムと響きによる表現を感じ取ろう	① リズムと和音の特徴を理解して鑑賞し、作品の背景を知り、自分の意見をまとめる。	「春の祭典」	○			○	a c	6	
2学期	9	期末考査	【器楽】ギターの弾き歌いに挑戦しよう	①ギターの奏法と表現上の効果とのかかわりに関心をもち、主体的に取り組もうとしている。 ②基本的な奏法、タブ譜、コード譜を習得する。	「糸」 「放課後の音楽室」 「いとしのクレメンタイン」	○	○	○		a c d	8	
	10		【鑑賞】西洋音楽の歴史を理解するとともに、鑑賞の力を高めよう	①楽曲の文化的・歴史的背景や楽曲分析などから、楽曲の表現の特徴を理解するとともに、批判活動を通して主体的に鑑賞する。	「レクイエム」	○			○	a c	7	
	11		【器楽】リズムの特徴を感じながら楽器の音色を工夫して合奏を楽しもう	① スウィングや拍の組み合わせを感じてノリよい合奏をする。	「One」「America」	○	○	○		a d	10	
	12		【鑑賞】特定のイメージを呼び起こす旋律を聴こう	① 多くの作品において死や不安を暗示する部分に用いられてきたグレゴリオ聖歌の〈怒りの日〉の旋律を感じ取る	怒りの日	○			○	a c	6	
3学期	1	学年末	【創作】メロディーの創作と変奏や編曲に挑戦しよう。	①変奏や編曲に挑戦して表現の工夫の幅を広げる。 ②長調、短調の音階の特徴、旋律にふさわしい音の組み合わせ、つくった旋律にコードなどを作る。	モチーフを生かしてメロディを作ろう「自作曲」	○	○	○		a c	15	
	3					【器楽】郷土の音楽に親しもう	① 沖縄や宮古島で生まれた民謡などを通して、文化や精神を学ぶ。	「豊年のうた」 「芋め時代」	○	○	○	

《評価方法》 a. 授業に対する意欲/b. 学習ノート/c. ワークシート/d. 実技テスト・定期考査

令和2年度 芸術科「音楽表現」 シラバス

科目	音楽表現	単位	2 学年	3年 普通科 理数科 選択	使用教科書	Joy of Music(教育芸術社)
----	------	----	------	---------------	-------	---------------------

1 科目の目標及び評価方法

科目の目標	音楽作品についての演奏研究を通して、演奏における客観性と多様性を理解し、音楽の様式を尊重して演奏する能力を養う
評価方法	定期考査・・・40% 実技テスト・・・40% 提出物・授業態度・発表点・その他等・・・20%

2 音楽Ⅲの評価の観点、規準

	①音楽への関心・意欲・態度	②音楽表現の創意工夫	③音楽表現の技能	④鑑賞の能力
観 点	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	楽曲の諸要素を知覚し、それらの働きを感受しながら表現を工夫し、表現の意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を近くし、それらの働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。
規 準	「歌唱」「器楽」「創作」の表現領域、「鑑賞」の鑑賞領域に積極的に取り組んでいる。	基礎的、基本的な知識・技能を活用しつつ、生徒自身で説明、論述などの言語活動を通して、表現の工夫ができる。	発声や身体の使い方、読譜、楽器の奏法などを身に付け、創造的に表現している。	楽曲のもつ特性を、諸要素を関連付けながら鑑賞し、自分の言葉で感想を表現することができる。

3 学習計画及び評価方法等

《評価方法》

評価対象： a. 授業に対する意欲/b. 学習ノート/c. ワークシート/d. 実技テスト・定期考査

学期	月	考査範囲	題材名	学習活動	主な鑑賞曲	評価の観点				評価方法	配当時間	進行
						①	②	③	④			
1 学期	4	期末考査	表現のための技能を高めよう～発声練習やソルフェージュを通して～	①曲想と歌詞の内容がどのようにかかわっているかを理解して歌う。 ②歌と伴奏それぞれの役割をよく理解して表現に生かす。 「女王のエチュード」「霧と話した」	■声楽曲 シューベルト：「魔王」	○	○	○		a	4	
	5		表現上の効果を生かして歌おう～アンサンブルを通して～	①各パートの役割や全体の響きについて一人一人が主体的に考え、音色、フレーズ、強弱などを工夫してアンサンブルをする。 「ほたるこい」	■声楽曲 ビクトリア：「アヴェマリア」 ヘンデル：「メサイヤ（ハレルヤ）」	○	○	○		a c	4	
	6		表現上の効果を生かして演奏しよう～アンサンブルを通して～	①コードについて理解しコードを楽譜におこして演奏する。 ②音色、フレーズ、強弱などを工夫してアンサンブルする。 「ピンクパンサーのテーマ」「ジムノペディ」	■鍵盤 管弦楽曲 チャイコフスキー：ピアノ協奏曲第1番	○	○	○		a c d	7	
	7		オペラの〈間奏曲〉に親しもう	①場面の状況や登場人物の心情を理解しながら聴く。 ②音楽的な要素とそれ以外の要素がどのようにかかわり合って総合的な芸術表現が形づくられているかを理解する。	■オペラ マスネ：タイス マスカーニ：カヴァレリア ステイカーナ ビゼー：カルメン	○			○	a b c	7	
2 学期	9	期末考査	弾き歌いに挑戦～子どものうたを通して～	①弾き歌いをしながら人に聴かせたり、一緒に歌ったりする場合の表現を工夫する。 ②歌と伴奏それぞれの役割をよく理解して表現に生かす。	■童謡、唱歌、わらべ唄	○	○	○		a c d	8	
	10		声の探求⑤ ミュージカル「オペラ座の怪人」 ・組踊り	①ミュージカルミュージカルの歴史と作品について学び、オペラとミュージカルの違いを学ぶ。 ②世界遺産である沖縄の組踊りについて理解する。	■美女と野獣から 「Beauty and the Beast」 ■コーラスライン「One」	○			○	a c	8	
	11		独奏/合奏 ・ 三線 ・ギター ・ キーボード 琉球音楽	①各個人の役割を果たせるよう、各楽器の奏法の習得を目指す。を活かして、グループアンサンブルで演奏する。	■村治佳織 「アルハンブラ協奏曲」	○	○	○	○	a b d	10	
	12		合奏 グループアンサンブルの発表会にむけての取り組み	①グループ発表会を通して、音楽の要素を知覚しながら相互評価をする。 ②グループの興味関心に応じた選曲、楽器編成で自主的な音楽演奏ができる。	■弦楽曲 ブラームス：ヴァイオリン協奏曲ニ長調 ボロディン：弦楽四重奏曲第2番	○	○	○	○	a b d	3	
3 学期	1 2	学年末	個人による演奏発表会に向けての取り組み	①個に応じて、習得したい楽器を選び、技能の向上と創意工夫された表現力を身につける。	ヨーヨー・マ (チェリスト)	○	○	○		a b d	9	

令和2年度 【美術I】シラバス

科目	美術I	単位	2	学年	1年 普通科 理数科	使用教科書	美術1(光村図書)
----	-----	----	---	----	------------	-------	-----------

1 科目の目標及び評価方法

科目の目標	造形的な見方・考え方を働かせ、美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を育成する		
評価方法	定期考査・・・40%	作品課題・・・40%	授業態度・発表点・その他等・・・20%

2 美術Iの評価の観点

	①関心・意欲・態度	②発想や構想の能力	③創造的な技能	④鑑賞の能力
観 点	創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構造を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫して表している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。

3 学習計画及び評価方法等

学期	月	単元・題材名(活動)	学習のねらい・内容	主な教材	評価の観点				進行	
					①	②	③	④		
1 学期	4	( <b>審査範囲</b> ) 人はなぜ、描きつくるのだろう？(鑑賞)	美術のオリエンテーションとして、これからの自分と美術の関りをイメージしながら考える。	教科書5～7、全ワークシート	○			○	ab	2
	5	素描(表現・絵画) ・短時間で描くクロッキー ・形と調子を整える	・短時間で形を捉え、表現する。 ・遠近法や光の描き方によって変化する物体の見え方の違いを感じ取り、表現する力を育てる。	教科書8～9、29、16～17、68～69	○	○	○	○	a c d	6
	6	色彩の効果とレタリング(表現・デザイン) ・3秒で伝わるポスター 行事部活動をPRしよう	・色の性質や効果の基礎を学ぶ。 ・レタリングの基礎永字八法の理解。 ・伝えたいメッセージを考え視覚効果を考えてポスターを表現する。	教科書38～41、78～80、ワークシート 着彩用具	○	○	○	○	a b c d	5 8
	7	1学期期末								
夏休みの課題：各種美術コンクールへの取り組み/風景や人物の撮影										
2 学期	9	時間を切り取る/日常を捉える(表現・映像メディア)(鑑賞)	・夏休み中に撮影提出した写真をもとに、発表する。写真の発明から現在までの作家の鑑賞とともに美術史を学習する。	教科書54～57、美術年表、ワークシート	○	○	○	○	a b c d	7
	10	土から生まれる彫刻(表現・絵画・彫刻)(鑑賞)	立体感や量感、対象から感じ取った生命の魅力を粘土で表す。	教科書28～31	○	○	○	○	a b c d	10
	11	ステンドグラス(表現・デザイン)(鑑賞)	・ステンドグラスの歴史、ガラス、透過光について学び光の美しさや魅力を感じ、自然の形からデザイン構成を考える。	教科書44～45 資料美術史一般史	○	○	○	○	a b cd	7
	12	壁画原素(表現・絵画)	・卒業生に向けて、ふさわしいモチーフを考え、原画を構成する	ワークシート	○	○	○		a b c	3
3 学期	1	手を使う道具のデザイン(表現・デザイン)	・機能的な形が求められる生活の中で使う箸を制作する。「持つ」「握る」「つまむ」などの動作と形状のデザインを考え、素材の特徴も感じながら制作する	教科書48～53	○	○	○	○	a c	12
	2									
	3	記憶の中の自画像 自己を描く	・さまざまな作家の表現方法を鑑賞した上で、思い入れのある風景やもの、色や形を取り入れながら自分を見つめ表現する	教科書24～25	○	○	○		a b c	8
		作品集(ポートフォリオ) まとめと振り返り	・1年間の作品や、アイディアスケッチなどをまとめて学習を振り返る		○			○	a	2

評価対象： a. 授業に対する意欲/b. ワークシート/c. 作品課題/d. 定期考査

令和2年度 【美術Ⅱ】シラバス

科目	美術Ⅱ	単位	2	学年	2年 普通科	使用教科書	美術2(光村図書)
----	-----	----	---	----	--------	-------	-----------

1 科目の目標及び評価方法

科目の目標	造形的な見方・考え方を働かせ、美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を育成する		
評価方法	定期考査・・・40%	作品課題・・・40%	授業態度・発表点・その他等・・・20%

2 美術Ⅱの評価の観点

	①関心・意欲・態度	②発想や構想の能力	③創造的な技能	④鑑賞の能力
観点	創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、自然、自己、社会などを深く見つめ主題を生成し、創造的な表現の構造を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、主題に合った表現方法を工夫し、創造的に表している。	美術作品などの表現の工夫や心豊かな生き方の創造に関わる美術の働き、美術文化などを理解を深め、そのよさや美しさを多様な視点から創造的に味わっている。

3 学習計画及び評価方法等

学期	月	単元・題材名(活動)	学習のねらい・内容	主な教材	評価の観点				進行	
					①	②	③	④		
1学期	4	心の記憶、想像の源(鑑賞)	美術のオリエンテーションとして、スケッチを鑑賞し、これから始まる美術2の授業への関心や意欲をの関りをイメージしながら高める。	教科書4～5、全ワークシート	○			○	ab	2
	5	素描/風景画(表現・絵画) ・半分自画像 ・心の中の風景	・素描の基礎を思い出しながら制作する ・風景から感じとった印象を形や色に置き換え、再構成して表現する。	教科書10～11	○	○	○	○	a c d	9
	6	情報を視覚化するデザイン(表現・デザイン)	・色の性質や効果の基礎を思いだし、トーンや配色の効果も考え表現する。 ・自分の通学路について、その手段やかかる時間を形や色を使った絵グラフなどで視覚化し伝える力を育てる。	教科書32～33 56～57、 ワークシート 着彩用具	○	○	○	○	a b c d	4 10
	7									
夏休みの課題：各種美術コンクールへの取り組み/風景や人物の撮影										
2学期	9	人物や構図の工夫(表現・映像メディア)(鑑賞)	・夏休み中に撮影提出した写真をもとに、発表する。	教科書54～57、 42～45 ワークシート	○	○	○	○	a b c d	2
	10	想像上の生き物をつくる(表現・絵画・彫刻) ものに宿る魂(鑑賞)	・自分のお気に入りのものに魂が宿って、人知れず、自分を守る守り神になってくれていることを想像し「自分の守り神」のフィギアをつくる。	教科書24～25、 28～29	○	○	○	○	a b c d	1 10
	11	身近な材料でつくる(表現・絵画・彫刻)(鑑賞)	・ボックスアートの手法を用いて、共通する主題より自分のイメージする世界観を様々な材料を用いて表現する。	教科書22～23	○	○	○	○	a b cd	10
	12	シルクスクリーンの世界(表現・絵画) 壁画原案	・表現方法の理解と、シルクスクリーンの表現と味わいに関心を持ち、年始の挨拶や抱負などのメッセージを込めた作品を見通しを持って表現する。 ・壁画の原案にも版画の特徴を取り入れ構成する	教科書16～17	○	○	○		a b c	6 4
3学期	1	手で使う道具のデザイン(表現・デザイン)	・機能的な形が求められる生活の中で使う箸を制作する。「持つ」「握る」「つまむ」などの動作と形状のデザインを考え、素材の特徴も感じながら制作する	教科書48～53	○	○	○	○	a c	10
	2									
	3	作品集(ポートフォリオ)まとめと振り返り	・1年間の作品や、アイディアスケッチなどをまとめて学習を振り返る		○			○	a	2

評価対象： a. 授業に対する意欲/b. ワークシート/c. 作品課題/d. 定期考査

令和2年度 【美術表現】シラバス

科目	美術表現	単位	2	学年	3年 普通科 理数科 選択	使用教科書	
----	------	----	---	----	---------------	-------	--

1 科目の目標及び評価方法

科目の目標	造形的な見方・考え方を働かせ、美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を育成する		
評価方法	作品課題・・・40%	作品ポートフォリオ（毎学期）・・・40%	授業態度・発表点・その他等・・・20%

2 美術表現の評価の観点

	①関心・意欲・態度	②発想や構想の能力	③創造的な技能	④鑑賞の能力
観点	創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから個性豊かに主題を生成し、創造的な表現の構造を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫して表している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。日本及び諸外国の美術文化より美意識や創造性を感じ取る。

3 学習計画及び評価方法等

学期	月	単元・題材名（活動）	学習のねらい・内容	主な教材	評価の観点				進行	
					①	②	③	④		
1 学期	4	社会と美術	美術のオリエンテーションとして、これから始まる美術表現の授業への関心や意欲を社会との関りをイメージしながら高める。	ワークシート	○			○	ab	2
	5	仮面制作 （表現・彫刻）	太古からの仮面の文化や歴史を学び、日本や諸外国の美意識を感じとる。また、身近な素材から自分の個性を生かし主題を持った仮面を表現する。	ワークシート	○	○	○	○	a c	14
	6	絵本作 （表現・デザイン）	色の性質や効果の基礎を活用し、絵本を制作する。オリジナルの内容で、対象を設定し、意図が伝わる絵本を表現する。	参考作品 ワークシート 着彩用具	○	○	○	○	a b c	9
	7									
夏休みの課題：各種美術コンクールへの取り組み/風景や人物の撮影										
2 学期	9	人物や構図の工夫（表現・映像メディア） （鑑賞） コラージュ	夏休み中に撮影提出した写真をもとに、発表する。 雑誌やチラシなどと写真を合わせコラージュの手法で表現する	ワークシート	○	○	○	○	a b c	4 4
	10	うちわ制作 （表現・デザイン）	用途と美しさの調和を考えて、日本の伝統的な表現の良さを生かし制作をする。	ワークシート	○	○	○	○	a b c	12
	11 12	しまぞうり制作 （表現・デザイン）	しまぞうりの左右の対を意識し、2色配色の表現方法を考えオリジナルの島ぞうりデザインを制作する。	ワークシート	○	○	○	○	a b c	15
3 学期	1 2	モダンテクニック （表現・絵画）	卒業を目前に、身近な素材で表現する楽しさを創造性や個性を発揮して表現を豊かに楽しむ。平面や立体と個々に合わせたキャンバスを制作する。	ワークシート	○	○	○	○	a c	8
	3	作品集（ポートフォリオ） まとめと振り返り	1年間の作品や、アイデアスケッチなどをまとめて学習を振り返る	1年間の作品	○			○	a	2

評価対象： a. 授業に対する意欲/b. ワークシート/c. 作品課題